

平成29年度(2017年度)第1回三者懇談会（吹田市立吹田保育園）

- 1 開催日時 平成29年4月22日(土) 午前10時～午前11時15分
- 2 開催場所 吹田保育園 遊戯室
- 3 出席者 吹田保育園保護者会会長、その他保護者22名
社会福祉法人こばと会（こばと会理事長、こばと保育園長）
吹田市児童部保育幼稚園室職員（保育幼稚園室長、児童部総括参事、保育幼稚園室参事、保育幼稚園室主幹、吹田保育園長、吹田保育園長代理、吹田保育園保育士）
- 4 議題 1 出席者紹介
2 懇談会の進め方について
- 5 議事要旨

1 開会

吹田市： ただいまから第1回三者懇談会を開会いたします。はじめにお手元の資料確認をさせていただきます。

（資料の確認）

吹田市： 本題に入る前に、吹田保育園の移管先事業者決定の経過を御存知ない方もおられると思いますので、経過を簡単にご説明いたします。

吹田保育園の移管先事業者を選定するために、昨年11月9日に選定委員会を設置しました。その後、3回の委員会を開催し、様々な議論や審査を経て、最終的に社会福祉法人こばと会を選定すると委員会からの答申が得られたため、本市はこの答申を受けて今年の2月14日に市としての決定を行いました。移管日は平成31年4月1日ですが、この移管に向けて、円滑な引継ぎを行うため、この三者懇談会が本日設置されました。これからは、この三者懇談会において、吹田保育園の保護者代表の皆様と、社会福祉法人こばと会、吹田市の三者で様々な調整事項について協議を行っていくことになり、本日は皆様に御出席いただいております。

2 出席者紹介

吹田市： では、本日がはじめての開催となりますので、三者懇談会の出席者の皆様につ

いて御紹介をいただきます。

(出席者紹介)

吹田市： ありがとうございます。次に、出席者の皆様から一言御挨拶をいただきます。まず、吹田市から御挨拶いたします。

吹田市： 皆様よろしくお願ひいたします。

本日はこばと会の皆様もお見えになっておりますので、忌憚のない御意見を出していただきながら進めていきたいと思ひます。吹田保育園につきましては、平成25年度に市が民営化の方針を決定した後、昨年度に社会福祉法人こばと会を移管先事業者とする市の決定をさせていただきました。こばと会さんは、同じ吹三地域で保育所を運営されているので皆様もご存知とは思ひますが、園を引き継いでいくことに関しては色々な思ひをお持ちだと思ひます。これからお話をしていきながら、思ひを共有していきたいと思ひています。

今年度から、保護者の皆様達がどのような思ひで話合ひをされているか聞き、今後の引継ぎに活かしていくように、園の保育士が事務局として参加していますのでよろしくお願ひします。

こばと会： こばと会は50年前のこばと保育園から始まり、現在は9の事業所を運営しております。山田地域で特養やグループホーム、デイサービスを行っておりますし、市から地域包括支援センターの事業を引き受けたりしています。保育所はこばと保育園のほかに山田地域に2園あり、昨年10月には小規模保育事業のこばとっこ保育園を開園して、地域の皆様にご利用いただいております。

こういった事業は、私たちが積極的に手を広げてきたというのではなく、地域の方からの御要望を受け入れてきた結果として、現在に至っています。吹田保育園は、南保育園に引続いてということもあり、大丈夫かなと思われる方もいると思ひます。私たちも正直に言えば不安はありますが、こばと会と吹田市と保護者の皆様は何回も話合ひて意見を交換していくことによって、不安を解消していきたいと考えております。皆様から忌憚のない御意見を出していただひて話合ひていきたいと思ひます。

こばと会は、子ども達が健やかで元気に育つようにと考えながら50年間運営し

てまいりました。これまで大きな事故もなく保育を続けています。また、保育士と栄養士が一緒になってより良い給食を提供できるように心がけ、子ども達の食生活にもこだわって調理をしています。

子ども達や保護者の方が安心して働き続けることが出来るように保育士も頑張っております。こういった取組みが保護者の皆さんに伝わって、御安心いただければと思っております。

こばと会： こばと会では何でも話し合える大人同士の関係作りを大切にしております。保育所には保護者会があり、介護施設には家族会があります。保護者会・家族会と法人と労働組合の3者で、運営内容について民主的に話合うことを大切にしています。

こばと保育園では、園の管理職と保護者会の役員と労働組合が、2か月に1回話し合いの場を設けて、園で起きたことを全て報告しています。改善が必要なこと、苦情への対応も全て報告しています。何でも話し合い、信頼関係を基礎にした運営を大切にするというのが開園以来のスタンスです。法人全体の事業が大きくなってきていますので、ホームページで会計内容を報告したり、いただいた苦情を公開することによって、利用者だけでなく市民の方にも開かれた運営を心掛けております。

福祉サービス第三者評価も定期的に受審しています。最近では、2015年度にこばと・さくら・さくらんぼ保育園が受審しました。結果も公開しております。受審は5年に1度ですが、指摘された点を改善するために取り組んでいます。

こばと保育園は1969年に定員60名で高城町に開園しました。地域のために役立てほしいという声があり、土地を地域の方から無償で提供していただきました。園舎を建てるためのお金は、バザーを開催したり寄付をいただいて集めました。その当時は、公立を含めて産休明けから子どもを預かる認可保育所が全国的にも少なく、看護師さんや教師の方々が共同保育所を運営している状況でした。産休明けから預けることができる認可保育所がほしいという声を受けて、こばと保育園ができました。その当時から、今では当たり前になっている7時から19時までの12時間保育を行いました。当時は0歳の子を朝早くから預けるのはかわいそうという声もありましたが、共働きで働く方にとっては必要であると考え、乳児保育の研修を受けながら保育を行っていました。

1970年12月からは、保護者のニーズに応えるために7時から21時の延長保育を全国に先駆けて始めました。今は7時から18時までを基本の保育時間とし、18時から22時までの4時間を延長保育としております。延長保育のときは

19時に手作りの給食を提供しています。

2000年に山田西に特別養護老人ホームいのこの里を開設しました。1995年に、介護問題で困っている方々が「吹田市内に誰もが入りたくなる特別養護老人ホームを作る会」という団体を作られ、資金を集めたり土地を探したりしていました。そんな中、吹田市が亥の子谷の土地を無償で貸しつけるという公募がありました。市民団体は応募が出来ませんでした。そこで、こばと会にお願いしたいという声があり、応募を行ったという経過があります。いのこの里もこばと会だけではなく、吹田市や市民の皆様と手を取り合いながら開設することができ、今も運営を続けています。

2003年には山田南でさくら保育園を開園しました。もともとは「さくら共同保育所」として認可保育所に入れなかった待機児童をお預かりする無認可保育所でした。地域の皆さんから認可保育所にしたい声があり、こばと会が引き受けて乳児をお預かりする保育所として開園しました。今は就学前までのお子さんが対象となり60名定員で運営しております。

山田東にはグループホームたんぼぼがあります。ここは地域の方が開所されていましたが、今はこばと会が建物等をお借りして引継いでおります。

2006年からは山田西の地域で待機児童が多いということもあり、定員60名のさくらんぼ保育園と高齢者有料賃貸住宅さくら苑を始めました。

2014年には山田西の吹田市立亥の子谷デイサービスの指定管理者となり、昨年4月に吹田市から地域支援包括センターの委託を受け、グループホームたんぼぼの中で介護相談を行っております。

昨年の10月1日に小規模保育事業を始めました。こばと保育園にお子さんを預けている保護者の方から、下のお子さんも預かってほしいという要望があってもこばと保育園だけでは対応するのが難しいという事情がありました。そんな中で、近所の住宅地を地域のために使ってほしいお声があり、開園することができました。

こばと会が自ら積極的に事業拡大をしていったのではなく、色々な方からの御相談をいただきながら、市民の皆様sの生活を守るために福祉事業を進めていったという経過があります。事業の運営についても、こばと会だけで決めるのではなく、地域の方や行政とも話し合っ、市民の皆様sの暮らしに役立てようと進めています。

現在、こばと会の職員は300人を超えております。今後も吹田保育園をっか

りと引継ぐために、職員を確保していきますのでよろしくお願いします。

保護者： 保護者会を代表して挨拶いたします。こばと会さんが吹田保育園の移管事業者として名乗りを上げていただいたことに対してあらためてお礼を申し上げます。吹田保育園は、吹田公立保育所の中でも長い歴史があり、地域との繋がりを大切にしてきました。同じ地域の園の一つであるこばと会さんが移管先事業者に決定したと聞いて安心したという保護者もおりますが、今後吹田保育園がどのように変わっていくのか漠然とした不安を抱えているという声も多く聞いております。

これからの三者懇談会を通じて、出来るだけ子ども達に不安を感じさせず、保護者が納得した形で移管できるように話合っていきたいと思っております。

吹田市児童部の皆様におかれましては、今の保育水準を問題なく維持していただけるように責任を持って取り組んでいただきたいと思います。

3 懇談会の進め方について

吹田市： 続きまして、今後の三者懇談会の進め方について、協議していきたいと思えます。今後、どのように吹田保育園を引継いでいくかについては保護者の皆様から様々な御意見や御要望があると思いますが、内容によっては、その場ですぐにお答えすることが難しい場合もございます。そこで、御意見や御要望について、保護者代表で取りまとめていただき、事前に書面の形でご提出をお願いしたいと思っております。それに対する考え方を三者懇談会の場でお答えしていきながら原則進めたいと考えています。

もちろん原則ですので、事前に提出していただいたこと以外で質問がありましたら、その場で聞いていただいても結構です。先行して三者懇談会を開催している南保育園では、このような進め方を行っていますので、同じように進めていきたいと考えております。この点について何か御意見はございますか。

(意見なし)

吹田市： では、当面はそのような形で開催することとします。本日は、事前に御意見等をいただいておりますでしたが、何かお聞きになりたいことはありますか。

保護者：　そもそも民営化というものがよく分かっていないので教えてください。

吹田市：　公立保育所は、市が建物を所有しており市の職員が運営しています。民営化によって建物をこばと会に譲りますので、こばと会が建物を所有します。そして、こばと会の職員が運営することになります。その結果、公立保育所が私立保育所になります。それがすなわち民営化という事です。

職員は変わりますが、基本的な定員や保育時間等はそのまま引き継いでもらいますし、保育料も変わりません。色々と不安な部分があると思いますので、この三者懇談会の場で市やこばと会と意見交換をする機会を設けています。今後も定期的に行っていきます。

こばと会：　こばと保育園が開園した頃は公立保育所も少なかったです。預かるお子さんも2歳からでしたし、時間も16時頃まででした。当時は働く女性が増えてきて、産休明けから預かってほしいとか、仕事が始まってから終わる時間まで長時間預かってくれる保育園が欲しいという声が多くありまして、その思いにこばと会がこばと保育園です。

その後、公立保育所をもっと増やそうという運動を行ってきました。こばと会が先駆けとなり、産休明け保育や長時間保育を広げていくために公立保育所の方とも研修や会合を重ねて行って、今の保育に至っています。本当は公立保育所を続けてほしいですが、全国的にも民営化が進んで公立保育所が減っていき、企業が運営する保育所も増えているのが現状です。しかし、やはり福祉という立場で子ども達を保護し、健やかに育てていく理念を持っている社会福祉法人が担っていくべきだと思うので吹田保育園を引継ごうと応募させていただきました。

吹田保育園とは長い間関わって交流してきましたので、子ども達のことや地域のことはよく分かっているつもりです。今後も一緒に学んでいきたいと思っています。

保護者：　民営化する時の運営主体はどうなるのでしょうか。南保育園に続いて2園目となるので保育士の確保が出来るのか心配ですし、確保できなかった場合に、市は何か対応をしてくれるのでしょうか。

子ども達にとって保育時間での先生との関わりも大きいですが、パートの先生

ともすごく楽しく過ごさせてもらっています。パートの先生にできるだけ多く残ってもらうことによって、子ども達も安心して過ごせると思いますので、園に残ってもらうような対応をしていただけるのでしょうか。

こばと会は病児病後児保育をされていると思います。移管後すぐにとというのは難しいと思いますが、将来的にしていいただけるのでしょうか。

看護師の確保はできますか。

民営化された後の教材費はどれくらいになるのでしょうか。保護者の中には色々な家庭があり、支払いが厳しいという方もいます。現在のこばと会での教材費の額を参考までに教えてください。

あとは、お布団についてです。吹田保育園では、お布団を無償で貸していただいているのですが、今後も同じような対応をとっていただけるのでしょうか。

また、こばと会では7時から18時までが通常保育とのことですが、吹田保育園は18時半までが通常保育です。30分短くなると困る保護者もおりますので、話し合いの中で対応していただきたいと思います。

最後に、合同保育が始まるまでに、三者懇談会を何回くらい開催する予定でしょうか。

吹田市： 来年度から合同保育が始まります。合同保育の時の運営主体は市のままで、こばと会から保育士等に来てもらうことになります。南保育園は今この状態で、2人の保育士に来てもらい、子ども達ともうまく馴染んでいます。移管後は市の職員もしばらくお手伝いに行きますが、運営主体はこばと会です。

保育士の確保が御心配とのことですが、吹田市の社会福祉法人では人が集まらないということはお聞きしていませんので、その点については安心してもらって大丈夫だと思います。

三者懇談会については、まずは合同保育に入るまでに不安を解消しながら回数を重ねていきたいと思っています。何回開催するかという回数よりも内容の方が大事だと思っています。

こばと会： 今の吹田保育園で働いているアルバイト・パートの方と面談を行い、御意向を伺いながら、継続雇用に向けて出来るだけ努力をしていきたいと思っています。登園した時に知らない先生ばかりというのは、子ども達にとっても良いことではないと、

他市で民営化の経験がある法人さんからもアドバイスを受けています。ただ、雇用条件がこばと会での基準になりますので、吹田保育園から引継いだ方だけ高い雇用条件にすることは困難です。吹田市だけではなく、国レベルの話になるのかもしれませんが、全ての保育士の処遇を高めていけるように皆さんのお力を借りながら進めていきたいと思っています。

保育士の確保は決して楽ではありません。来年度から南保育園に異動していただく方もいますし、吹田保育園に配置する保育士のことも考えなくてはなりませんので、通常の配置基準よりも多くの保育士を確保する必要があります。公立保育所を退職された方のお力も借りながら何とか確保に努めているところです。

看護師を配置することは移管の条件です。看護師は通常の募集で採用することが難しいので、人伝いに病院での夜勤が出来ない方などをお願いしています。こばと保育園の看護師も、いのこの里に入居されているご家族の方の紹介で採用することができたという経過がありました。

かつてはこばと保育園で独自事業として病後保育を行っていたことがありましたが、今は公立保育所と同じように体調不良児対応型として運営しています。移管後も今と同じように看護師を配置して運営していきます。

こばと保育園の教材費は月額 800 円です。主食費は公立保育所より高い金額を頂いております。移管後に何かを変える場合は、保護者の方と話合って決めることになっていますので、皆さんと話合いを進めていくことになると思います。また、こばと会が今行っていることを同じようにしてほしいと御要望がありましても、予算的に出来る事と出来ない事があります。例えば、こばと保育園では卒園時にアルバムをお渡ししていますが、これは職員が 1 年間かけて手作りしたものです。吹田保育園でも同じように作ってほしいが、費用負担はできないというのでは難しいと思います。そういった様々なことをすり合わせしていく必要があると思っています。

こばと会でのお布団の取扱いは、保護者の方に購入して持ってきていただくか、リースになっています。リースの業者は、現在の公立保育所の取引業者と同じです。ただ、リースは保護者とリース会社との契約になり、汚れたシーツなどをクリーニングに出す作業を園が間に入って行っています。なお、南保育園では、移管後に入園したお子さんから購入するかリースにするか選んでもらい、在園児は今まで通りにすると決めていただきました。

こばと会では朝の延長保育はなくて、18時から22時までの4時間が延長保育

になりますが、吹田保育園では7時から19時までが開所時間ですので、今と同様に朝30分と夕方30分の設定になります。

吹田市： 公立保育所でも、はさみやのり、粘土などを年齢に応じて買っていていただきます。布団のシーツ、園外保育やクッキングの際の費用も実費でいただいているので、保育料以外の教材費が大きく違うということはないと思います。

保護者： こばと会さんのお話で、人を確保するのに非常に苦労されてことが分かりました。市は、これまでの保護者説明会で、保育の水準を落とさないので保護者は安心してほしいと言われてきたと思います。南保育園の保護者の方も求めていると思いますが、子ども達が安心して引き継ぐことができるように、パート・アルバイトの方の雇用条件を維持するための施策を市として検討されていますか。また、できるだけ残ってもらうための働きかけをどれくらいされているのか教えてください。

吹田市： 私立になりますので、園全体の運営費の中で人件費をどのように割り振るのかというのは法人さんが決定することだと思います。保育対策費という用途を問わずに使うことができる補助金もお渡ししていますので、そういったものも含めて検討していただきたいと思っています。パート・アルバイトの賃金を補償するような補助金は特に検討しておりません

パート・アルバイトの方へは直接お話をいただいています。皆さんそれぞれ御都合もあると思いますので、日程調整を行ってこばと会と細かいお話をさせていただく予定です。具体的な状況が分かるのは来年度以降になると思います。

保護者： 今後民営化を進めていくにあたって、吹田市として何らかの補助をするべきではないかと思います。こばと会に引継いでもらうので終わりというのではなく、移管後何年間は何らかの補助を行うべきだと思います。

吹田市： 民営化を進めるにあたって、こばと会の負担を軽減するために色々な補助を考えています。まず、来年度の合同保育を行ってもらうために、人件費として最大

1400万円弱の予算を計上しています。建物には一定の価値がありますが、無償でお渡しします。土地の費用も通常であれば年間で300万円程度いただかないといけません。10年間無償としています。民営化を行った他市と比べても、吹田市はかなり手厚いと思っています。また、吹田保育園は耐震補強工事や屋上防水工事を終えています。その他の部分でこばと会と相談を行って、使いやすいように修繕するための費用も予算に計上する予定です。様々な形で補助を行っていますので、御理解いただきたいと思います。

保護者： 例えば、今1,000円で働いている先生の時給が、民営化後に850円になったら150円の差が出てきますので生活に支障が出てきます。建物を無償で譲渡するとか修繕をしていくというのはもともと民営化する前から決まっていたことで、費用を出してもらうのは当たり前です。民営化することによって、先生達が巻き添えになるのはおかしいのではないかというのが先程の意見だと思います。少しでも良い条件を出せるようにしてもらえれば、移管後も先生が残って保育をしてもらえると思っています。

吹田市： お気持ちはよく分かります。ただ、この話は南保育園でもしておりますが、賃金補償を行う予定はありません。こばと会に対して自由に使っただけの補助金を渡しておりますので、その中で考えていただきたいと思います。今年度から来年度にかけて、出来るだけ残ってくださいという働きかけをしていこうと思っています。

こばと会： 私たちは年に1回行政と話し合いの場を設けて要望を出しています。看護師の補助を市独自でできないかとか色々な話し合いをしているのです。国の補助金がどんどん減っていますので吹田市も大変だとは思いますが、公立に預けている子どもも私立に預けている子どもも全て同じ吹田の子どもです。全ての吹田の子ども達が豊かで安心して暮らせるような施策を考えてほしいといつも言っております。市に対する保護者の方の要望もありますので、これからも発信していきたいと思っています。

保護者： 私は保育関連の短大卒業です。民営化のこともあって、短大の先生に今の学生

の状況について聞いてみました。生徒の数は増えているけれど、実際に保育士になる方はそれほど多くなく、働いても2、3年で辞めたりする人が多いようです。友達の保育士に聞いてみると、うつ病になったり声が出なくなったという人もいます。それでも辞めることが出来ず、保育士が疲弊している状態です。新しく保育士を採用するのはいいのですが、保護者としては長く勤めてほしいです。年度が変わって先生が何人もいなくなれば子ども達にとって不安です。

保育士が働きやすくて人の入れ替わりが少ないのが良い保育所だと思います。就職先を決める際に短大の先生からもずっと言われていました。職場の環境が良くないと子ども達のトラブルが多かったり、不安定な子が多くなるそうです。今は安定した保育環境なのに、民営化して悪くなりましたというのでは困ります。ベテランの保育士も確保してほしいし、保育士の数だけではなく質を求めたいと思います。

こばと会： 現在、採用活動を行っていて感じることは、保育や福祉の専門課程を学ばれていた方はコミュニケーションスキルが高いので、サービス業や接客業からも求められています。保育士の資格があっても専門職でなく違う業種を選択されることがあるようです。そういった状況ですので、今までのようにハローワークや学校だけに求人を出して待っているだけではなかなか採用が出来ません。こばと会は、学生さん向けのサイトなどの媒体を通じて積極的に求職活動を行っています。

また、同じ年度の新卒採用の保育士を多く採用してしまうと職員全体のバランスが悪くなります。その方たちがずっと辞めずに定年退職した場合には、人がそっくり入れ替わってしまうことになるので、そういったことを踏まえて中途採用も行っています。

今年度は他園で経験のある50代の方を採用させていただきましたし、40代の方や他園で3年から5年程度の経験がある方も転職サイトを活用しながら採用を進めています。何も考えずに採用活動を行っているわけではありません。

こばと会では園と同じだけの長い歴史がある労働組合があり、自分たちの労働条件をしっかりと法人に要求しますし、市にも要求しています。自分自身が働きやすい職場作りを園と一緒に考えていますので、職員がどんどん辞めていくような園ではありません。

今日も朝から休みの職員が集まって三田でバーベキューをするようです。自分たちの家族や子ども達も一緒に交流していますし、風通しが良くて働きやすい職

場作りが出来ていると思います。

なお、昨年度退職した職員は、4園の保育所全体で非常勤の方が2名です。

吹田市： 平成25年度から保育士の処遇改善が始まっています。国も他の職種と給与格差があると意識しておりまして、今年度も保育士の給与を上げる予定です。市は、私立保育所の方と定期的に懇談をしていますが、定着を図っていくことで保育の改善につなげていこうという話になっています。保育士の負担を軽減してしっかりと子どもに向き合うことができる保育をさせてあげたいと思っています。

吹田市が定めた保育士の最低配置基準を守っていただくのは当然ですが、プラス2名の保育士に係る人件費を補助しています。1名分の補助は他市でも行っているところがありますが、2名分の補助は他市ではないと思います。また国の制度では、園で保育士の宿舎を契約したら家賃を補助するというものもあります。

保育士確保に向けた施策についていいますと、今年度から吹田市内の保育所で働く保育士が自分の子どもを保育所に預けやすくなっています。またハローワークとタイアップして年に何回か集団説明会を開いています。そういった施策を今後も進めていくことが必要と考えています。

こばと会： こばと会で働いている保育士は、子どもを何人も産み育てながら定年まで仕事を続けています。園で保育士の子どもも預かっているので、働きやすいのではないかと考えております。

保護者： 今在園している子ども達にとってもちろんですが、卒園していった子ども達のためにも吹田保育園の園名と園歌を残してほしいです。園歌は6年間歌い続けてきて子ども達の耳に残っていますし、卒園した子ども達が遊びに来た時に、保育所の名前が変わっていたら切ない気持ちになると思います。そういったことも、これから話合っていきたいです。

こばと会： 園名と園歌を変えるつもりはありません。

吹田市： そのようなことも含めて、保護者会で話合っただけで要望事項としてまとめたいただいたら、三者懇談会の議論が進みやすくなると思います。

吹田市： 本日はこれにて閉会いたします。次回の開催については、こばと会様と保護者
会長様と調整させていただきます。御参加いただきありがとうございました。